

秋の一斉茅刈りは11月11日(土)、 三村交流会in菅沼は12月3日(日)、開催決定です！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成29年 9月号

『かややね会議in白川郷』開催！ 主役は皆さんです！！

寺口家 人 福田 麻衣子

(地域おこし協力隊)

旧寺口家に住み始めて・・・旧寺口家に住み始めて、まもなく一年が経とうとしています。元々その建築様式に関心を持っていましたが、白川村に移住して、職人さんの技術や「結」の精神が根付いていることに感動し、地域住人の皆さんが自身の暮らしだけでなく集落全体の暮らしを守ろうと多大な努力をされていることを知り、合掌造りの価値を再確認することとなりました。実際に合掌造りに暮らしてみると想像以上に大変であり、長年合掌造りを守ってこられた住人の皆さんこそが世界遺産であると思うようになりました。雪囲いや屋根雪降ろしなど一人ではできないことも、皆さんの温かいお心遣いとお協力のおかげで楽しく行うことができ、日々充実した暮らしを営むことができます。この感謝の気持ちをもって、なんとか地域に貢献したい。そして白川村民歴は短いけれど、皆さんと同じ思いで合掌造りとそこにある暮らしを守っていきたくて考えています。

かややねプロジェクト発進・・・合掌造りを守るためには茅が必要ですが、現在その多くを村外に依存していると聞きます。茅の供給元でも刈り手の高齢化が進み、今後同じように茅を確保できる保証もないため、茅の自給率向上に向けた取り組みを長く続けていくことが必要なのだそうです。しかし、人口の少ない村内での茅の刈り手の確保には限界があり、村民に限定せずに茅の刈り手を増やしたいということで、一昨年からイベント形式による茅刈り「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト～秋の一斉茅刈り～」が始まりました。私たちは単なる楽しいイベントで終わらせたくなく、白川村民との触れ合いを通して、白川村のいいところも課題も知っていただき、白川村のこれからのことを共に語り合えるような関係性を築いていながら、毎年繰り返し茅刈りにお越しいただけるような仕組みをつくっていきたくて考えました。そこで、どのような企画であれば毎年茅刈りに参加したくなるかというヨソ者の視点で「秋の一斉茅刈り」の企画を行う「かややね会議」が発足し、茅の魅力を掘り下げることでイベントとしての価値を高めていこうと、都市部の若者たちが毎回真剣に、そして楽しく話し合いを行っています。昨年の「秋の一斉茅刈り」では、かややね会議のメンバーの皆さんもスタッフとして運営のお手伝いに携わっていただきました。同じ思いで茅を刈ったことで、当日の直会が大いに盛り上がったことが印象的でした。こうして「かややね会議」の存在は私にとってとても大きなものになりましたが、最近思うことが2つあります。ひとつは自分たちの村のことなのでここ白川村でももっと盛り上がっていきたくてということ。もうひとつは合掌造りや茅刈りに対する思いを後世に伝えていくことができるのは白川村民しかいないということです。遠くの仲間はいつでも新鮮な発想を届けてくれるとても大切な仲間ですが、私には時間を共にし同じ未来へ向かう近くの仲間も必要であると感じるようになったのです。

かややね会議in白川郷を開催・・・そこで「かややね会議in白川郷」と題し、茅刈りについてざっくばらんに話し合う機会を設けることにしました。難しいことをしようと思っ



【旧松井家を会場にワークショップ】



【グループで話し合った内容をシェア】

ている「白川郷かや屋根技術舎」の皆さんに思いを伝え一緒に盛り上げていくことにしました。ありがたいことに彼らが合掌造りを持つ若者を中心に声をかけてくださり、当日は予想を上回るたくさんの方がご参加くださいました。茅刈りに対するイメージを確認し、茅刈りを楽しむためのアイデアを出していく過程で「合掌を守りたい」という熱い思いと、「白川が好きだ」という愛情を共有できたことは、これからの村づくりにつながっていくのではないのでしょうか。「茅刈りは合掌を守るためのもので、楽しむとかそういう類のものではない」という意見もありましたが、合掌を守りたいという思いがある上で楽しむことができたのなら、そして結果として茅の自給率の向上につながるのなら、新しいアイデアを出していくことはとてもいいことであると思います。むしろただ茅刈りを行うより、私たちが楽しんでいる姿や頑張っている姿を発信できれば、白川村の素晴らしさがより伝わり、村外参加者も増えていくのではないかと思いますし、新たな暮らし方や観光の提案という私たちの豊かな暮らしにもつながっていくと感じています。



【集合写真、皆さん楽しそう!!】

主役は皆さんです!!・・・一人一人の思いが力をもつこの村では、様々な立場の方の地域参画が必要であると考えます。皆さんお忙しいので、できるだけ負担なくとは思いますが、負担を減らすことを考えるのも他の誰でもない私たち自身ですし、気づいたら負担と感じていたことがエネルギーに変わっているような生き方ができたらいいなと思います。今回の「かややね会議in白川郷」では、子ども連れでご参加いただいた方もいらっしゃいましたが、これは大変嬉しいことでした。子どもがいるから参加できないと言ってしまうと、そこから何も始まりません。白川村は地域で子どもを育てることができる村ですので、私たち大人が真剣に楽しんでいる姿を子どもたちにも見せていけたなら、それは素晴らしいことだと思います。また、同様の理由やお仕事の関係で、夜の開催では行けないという方も、今度は昼間にやろうなどと声を出していただけましたら、きっとそれは実現可能なことなのだと思います。

「かややね会議in白川郷」は始まったばかりです。一夜限りの会で終わりにせず、必ず次につなげていきます。主役は村に生きる皆さんです（村民としての私も主役だと思っています）。次回の「かややね会議in白川郷」は、「秋の一斉茅刈り」の前日前夜祭として開催したいと考えていますが、私の思いだけでは絶対に成功しないので、ぜひ一緒に楽しい時間をつくっていきましょう!!

われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト
～ 秋の一斉茅刈り ～

11月10日（金）前夜祭
11月11日（土）イベント1日目：茅刈り
11月12日（日）イベント2日目：茅染め体験
（『白川合コン』も当日イベントにジョイントします。）

守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ ～

①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 8月の活動報告 ＝

- 8月 1日 茅刈り写真展（～31日 旧松井家）
- 8月 8日 8月定例会・役員会
- 8月 10日 ねそ8月号配付
- 8月 15日 荻町区盆踊り（荻町公民館主催）
- 8月 24日 白川郷学園6年ふるさと学習打合せ（会長・副会長）
- 8月 24日 現状変更に関わる現地調査（3役）
- 8月 25日 白川郷かややね会議（旧松井家）
- 8月 28日 荻町合掌集落の景観に関する懇談会
- 8月 30日 JNT旧松井家・旧寺口家管理運営委員会

◎区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

※ 10月の定例会は、6日(金)公民館会議室にて開催を予定しています。

☆9月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

***** 木製網戸追加	***** 仮設車庫	***** 自宅増築
***** 旧自宅の解体	***** 屋根葺替え	***** 立木の伐採
***** 軸部修理に伴う建具補修・板張替	緑地資源開発公社	***** 支障木の伐採、枝打ち等
白川村教育委員会	***** おおた桜文化財標柱設置	白川村教育委員会
		***** 放水銃No50の移設

※9月の組寄せにて『秋の一斉茅刈り村民参加募集』の用紙配付。10月の組寄せで参加者を取りまとめます。多数のご参加を!!